

# 栄養やまぐち

(社) 山口県栄養士会

〒753-0814 山口県吉敷下東3丁目1番1号  
山口県総合保健会館4F  
TEL:083-932-8015 FAX:083-902-7156  
ホームページアドレス: <http://www.yama-ei.com>

## 平成22年度 通常総会報告



去る5月22日(土) 山口県総合保健会館において、平成22年度通常総会が開催されました。

開催にあたり、山口県健康福祉部長今村孝子様のご出席を賜りました。又、本年度は、永年模範会員として24名の方が表彰を受けられました。

尚、平成22年度の総会議事は下記のとおりです。

- 開催場所 山口県吉敷下東3丁目1番1号  
山口県総合保健会館
- 開催日時 平成22年5月22日(土)
- 総会員数 829人(4月30日現在)
- 出席会員数 555人  
内訳 本人出席 146人  
書面表決者 112人  
委任状出席者 297人

- 議長選出 満場一致をもって  
議長 宇部支部 篠田千鶴子  
副議長 岩国支部 田村幸子  
が選出された。

- 議事録署名人・書記選出  
全員一致をもって次のものを選出した。  
議事録署名人 山口支部 中村 良子  
柳井支部 青木 直美  
書記 北浦支部 中田ひとみ

- 定足数の件  
議長挨拶の後、第22条、第24条により法定数を満たしたので、有効に成立した旨宣言した後、議案の審議に入った。

- 第1号議案 平成21年度事業報告及び決算報告
- 第2号議案 平成22年度事業計画及び予算
- 第3号議案 役員選任の件
- 第4号議案 監事選任の件
- 第5号議案 日本栄養士会平成22・23年度代議員選任の件

(社)山口県栄養士会会長 1名  
(社)山口県栄養士会副会長 2名  
常任理事(定款10条第3号) 2名

上記の案件は全て承認されました。

以上活発な意見が交わされた平成22年度通常総会は、無事閉会した。





# 平成22年度 永年模範会員表彰

おめでとうございます。平成22年度永年模範会員として、24名の方々が表彰されました。

白 木 輝 枝  
福 田 由 里  
藤 中 啓 子  
松 宮 裕 子  
村 上 享 子  
倉 光 雅 子

雪 野 まり子  
高 松 由 美  
埜 村 信 代  
山 田 傑 子  
磯 部 直 子  
溝 田 美 苗

谷 口 真理子  
日 高 優 子  
藤 本 幸 子  
河 内 孝 子  
森 脇 浩 世  
岡 藤 陽 子

山 根 早 苗  
田 中 佳 枝  
住 吉 玲 子  
小野田 真知子  
嶋 田 富士子  
山 本 節 子

## 喜びの声

### 学びの20年、これからも・・・



老人保健施設 ふれんず 松宮 裕子

栄養士として働き始めたのは離島にある児童養護施設でした。若い時にしか出来ないことをと思い選んだ職場でしたが、離島のため天候により海が時化て渡船が出ず食品の納品が出来ないこともあり、急遽献立を変更ということもありました。ここで経験した『臨機応変』の大切さはその後の業務にも役に立っていると思います。職場の方や島の住人の方々に助けられ業務をこなすことができました。その後精神科病院を経て老人保健施設の開設時に就職し、現在に至ります。振り返ってみると児童、精神障害者、要介護高齢者と現在わが国の大きなテーマになっている領域を歩んできたこととなります。この間、たくさんの利用者様

と出会い経験・知識をいただき成長させていただいています。結婚後も、産休・育児休暇を取ることができ働き続けてこられたことはとても幸せなことだと思っています。

現在職場で取り組んでいることは、利用者様に食事を食べるだけでなく、作ることから『食』の楽しみを持っていただけるよう介護・リハビリ職とともに料理レクリエーションを行っています。季節を感じ、かつてされていたことを体験していただくことで喜びを感じ充実した施設生活を送れるよう支援していきたいと考えています。

これからも向上心を持ち日々の経験で学び成長していけるよう努力していきたいと思っています。

## 喜びの声

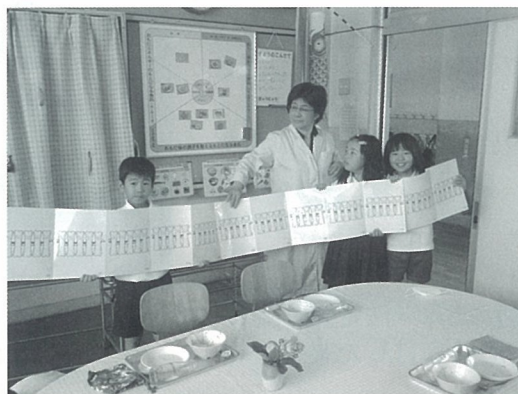
### 学んで、伝えて

下関市立豊浦小学校 小野田 真知子

このたびは、永年模範会員の表彰をいただき、ありがとうございました。

栄養士会には、お世話になりっぱなしの私が、賞をお受けしていいのかと迷いましたが、すなおに受けさせていただきました。

短大を卒業後、学校栄養士となった私の初めての職場は10,000食の給食を作る共同調理場でした。子どもたちにおいしい給食を提供しようがむしやりに働いていましたが、ある時、恩師の長尾教授から栄養士会に加入していないことへのお叱りを受け、急いで加入したものです。子育て中は、研修に子どもを連れて参加したこともありましたが、仕事や子育てに余裕ができた頃は栄養士会が開催する管理栄養士の試験準備の講座を受け、おかげさまで合格することができ管理栄養士の資格を得ることもできました。



その後は生涯学習を受講し、日々進歩していく栄養学や栄養士を取り巻く環境についていかなければと勉強させていただいています。

その間下関支部のお世話をさせていただき、いろいろな職種の方たちと親しくなることもできました。職場はそれぞれ違っていても、どなたも栄養士として誇りを持って仕事に従事されておられることに刺激を受けました。

現在は学校給食を通して、児童や保護者・地域の人たちを対象に食育を進めています。未来ある子どもたちに自己管理ができ、健康な食生活が送られるよう、食の指導を日々頑張っていきたいと思っています。

栄養士会を大いに利用して成長させていただいた私です。これからも益々の山口県栄養士会のご発展をお祈りしつつ、お礼の言葉といたします。



## 「第1回栄養士研修会」

### 災害時の食対応

### ～地域のこゝと、施設のこゝと～を聴いて

織島病院 松尾 眞実

平成22年5月22日、ホリカフーズ㈱営業企画部、取締役部長・防災士・別府茂先生の講演「災害時の食対応」を聴きました。近年、地震や水害等の発生が各地域で発生しています。山口県でも昨年、大規模な自然災害があったことは記憶に新しいところです。10数年前にも、大型台風の影響で県内が大混乱になりました。当院は被害を受ける事は無く、近隣の施設が水害を受け、炊き出しなど救援した記憶があります。当時は、ライフラインも乱れることなく災害の記憶も薄れ今日に至っています。

給食施設において、入所者に対する「安全な給食の提供」がうたわれ、どの施設も非常食が備蓄されています。当院でも非常食の備蓄しているものの、これで良いものかと疑問を抱いている中、今回の講演がありました。ホリカフーズ㈱本社は新潟中越地震を被災体験され、その後の近隣震災地への支援活動を行っておられます。勿論、非常食を手掛けておられることは周知のことです。別府先生のお話は、体験を元に重みのある内容でした。まず、事業継続＝便利が当然の豊かな現代生活には被害を受けても可能な限り短い期間で再開することが望まれること。そのためにはフードサービスのリスクと特性を理解し、防災フレームワーク（取り込み手順）を検討しておくこと。フードサービス継続への障害を取り除くべく、具体的想定を行い訓練が必要であること。別府先生の体験によると、ライフライン代替システムの検討、食品の備蓄だけでは完全ではなく、調理用の水・もしくはお湯が必要であること、入所者の食事だけでなく職員の食事も考慮すること、被災時の健康の二次災害も考慮することなどがあげられました。特に、非常食の価値は災害時にわかるとして「災害は備えた分だけ憂いなし」と被災実体験から出た言葉が印象に残っています。被災時の食品の条件は、調理済みで開封するだけで喫食可能であること、個別包装である、食器不要、最低2日分。さらに重要なことは、温かくておいしく、しかも食べやすいもの、いつも食べている食事に近いものであること。また、栄養面への配慮があり、喫食対象者のニーズに対応していること。非常食は



定期的見直しが必要であり全種類試食することなどです。会場で聞き取ったところ、試食している施設は半分にも満たしていませんでした。災害時においても、おいしく、温かい食事を提供するために試食は必要であると強調されました。当院も非常食の入れ替え時に献立に編入したのですが、そのままでは使えませんでした。私は、非常事態の時には我慢できるのではと安易に考えていましたが、早速非常食について検討することにしました。最後にホリカフーズの最新非常食を拝見し、進化していてとても興味を持ちました。

今回、実体験をもとにした食の危機管理の講演は大変勉強になり、災害時において一番必要とされる食事について考え直す良い機会となりました。



#### 【セット内容】

- 粟五目ごはん（缶詰）…1缶
- つくねと野菜のスープ…1缶
- 発熱セット …1組
- レンゲ、紙ナプキン…各1個



## 平成22年度 山口県栄養士会の活動と運営について



(社) 山口県栄養士会長 中村 良子

「光陰矢のごとし」。早いもので私が会長に就任して、早、6年が経過しました。この間、経済状況の低迷や政権交代等社会情勢の変化は著しく、また、栄養士を取り巻く環境も著しく変化してきました。特に、特定保健指導、介護予防など我が国の医療・福祉制度に予防を視野に入れた施策の展開が行われるとともに、食育基本法の制定により、学校や保育所等において食育が幅広く実施されるようになりました。また、公益法人改革の中で、われわれ栄養士会が、公益法人を目指して事業や予算を見直していく中で、改めて管理栄養士・栄養士の社会的責務を明らかにすることが、重要とであることを確認して参りました。

皆様も御承知の通り、(社)日本栄養士会においては、公益法人を目指して定款の改正に取り組み、先般の通常総会で公益法人としての栄養士会の目的が示されました。それは「本会は、すべての人びとの「自己実現を目指し、すこやかに、よりよく生きる」とのニーズにこたえ、保健・医療、福祉及び教育等の分野において、職業倫理と高度な専門性を以って、科学的かつ高度な技術に裏づけられた食と栄養の指導をとおして公衆衛生の向上に寄与することを目的とする」というものです。

このことを踏まえて、山口県栄養士会としても

公益法人化を目指し、県民の「よりよく生きる」というニーズに貢献できる栄養士会活動を目指して、従来の活動に加えて、公益事業内容を検討し、今年度の事業に組み入れたところでは、「栄養ケア・ステーション」事業の運営強化、県民公開講座の開催、野菜摂取増を目指した「栄養・健康相談」や地域健康づくり事業の実施などです。この事業は、会員一人ひとりの協力無しには実施できないものですので、各支部で実施する場合は、よろしくお願ひします。

また、新しい試みとして、会員のいろいろな悩みや疑問を解決するための、「栄養士サポート事業」を新設いたしました。栄養士が一人の職場多いので、問題や課題を解決する前に、疲れてしまうケースが多々あると思われるので、各協議会から相談員さんを選出して、様々な相談に対応する会員のための事業です。誰でも遠慮なく御相談ください。個人情報保護は厳重にいたしますので、御安心ください。平成22・23年度は理事が2名増員され15名で運営します。県民並びに会員に必要とされる「山口県栄養士会」活動を展開して参りますので、御協力のほど、くれぐれもよろしくお願ひいたします。



### 栄養士会会員ための新規事業 「栄養士サポート事業」がスタートします。

一人で悩んでいませんか？  
もつといい仕事がしたいと思いませんか？

- ◆聞きたいことがあるけど、誰に聞けばいいか迷っている。
- ◆こんな場合、どうやって対応したらいいが分からない。
- ◆他の人達がどのようにしているか、情報がほしい。

そんなあなたの仕事の悩みを一緒に考えながら解決のお手伝いをします。  
まずは、下記にお電話ください。

相談日 毎週(木)曜日 PM 1時～3時  
連絡先 電話 (083) 932-8015

ホームページで  
相方向でコミュニケーションを  
いたしましょう！  
会員専門ページへの  
ログインパスワードを  
再送いたします。

皆様からのメールを  
お待ちしております。



# 平成22年度新役員を紹介します。

## 総務部

- 委員長 田坂 克子 (副会長・病院協議会)  
 委員 中村 良子 (会長・地域活動協議会)  
 委員 吉田 弘子 (副会長・行政協議会)

## (社)山口県栄養士会総務委員会 委員長を拝命して



委員長 田坂 克子

平成22、23年度と(社)山口県栄養士会総務委員会委員長の大役を拝命した田坂と申します。私は、今年3月末に長年勤務した山口大学医学部附属病院を無事に卒業することができました。栄養士、管理栄養士は病院だけでなくいろいろな職場、職域で勤務しています。また、栄養士会は栄養士・管理栄養士の職能団体です。

どのような職場、職域で勤務していても、栄養士・管理栄養士には食・栄養の専門職としてどのように考え、行動するか、また、どのような結果が出るか、周囲から絶えず観察されています。求められる課題に専門職として適格に答えていく必要があると思います。

総務部には(社)山口県栄養士会の方向性を決めていくという大きな任務があります。

(社)日本栄養士会の動きをチェックしながら、私達の(社)山口県栄養士会を私達栄養士、管理栄養士のために企画・運営したいと思います。

## 事業部

- 委員長 吉田 弘子 (副会長・行政協議会)  
 委員 田坂 克子 (副会長・病院協議会)  
 委員 溝田 美苗 (研究教育協議会)  
 委員 小田 裕美 (地域活動協議会)  
 委員 長濱 美和 (地域活動協議会)

## きずなを大切に



委員長 吉田 弘子

通勤途中の車のなかで、聞くとはなしに聞いていたラジオからアナウンサーとコメンテーターのやり取りが聞こえてきた。「これからの時代に必要なものはなんでしょうか？」私なりに答えを考えてみた。「教育かな？それとも競争力…？」でも、コメンテーターの口から出てきた言葉は「きずな」だった。

おそらく教示的な言葉が出てくださると思っていたので正直なところちょっと拍子抜けした気分で、その言葉にぴんとこなかったのだけど、時間がたつにつれ、納得できるようになった。

人、物、金が削られ、仕事ばかり増えてきているように感じられる今、それをうまくやり抜くポイントは「気」だと思う。おなじ「気」を共有できる「きずな」があると人はちょこっと頑張れるものだと思う。

栄養士会も今いろいろな課題が山積しているけれど、会の仲間とのきずなを大切にしながらなんとか乗り越えていきたい。



- 委員長 中谷 昌子 (福祉協議会)  
 委員 野崎あけみ (病院協議会)  
 委員 西村 泰明 (健康集団管理協議会)



委員長 中谷 昌子

## 学術部 ～会員の皆様と共に～

暑い季節を迎えました。夏が苦手な私は、暑くなる前に少し時を止めたいのですが、思いとは逆に、毎年気温の高くなる日が早くなるような気がしています。

この度、学術部を担当することになりました。学術部は、県民の栄養に関する学的研究に関することや、栄養士発表会に関すること。生涯学習の企画立案及び運用に関すること、となっています。すでに、今年度の生涯学習研修会は始まっています。会員の皆様のご意見やご希望、企画された前任学術部委員、生涯学習委員の皆様の思いを引き継ぎ、運営していきたいと思っております。

しかし、年々、生涯学習受講者が減少しています。どのようにすれば受講者が増えるのか、生涯学習研修会のアンケートに記入欄に設けておりますので、よい案があれば遠慮なくご記入下さい。

栄養士研究発表につきましては、日頃の業務で取り組まれていること、その経過、評価を発表していただく絶好の機会です。ご発表をお待ちしています。

- 委員長 松村 史樹 (福祉協議会)  
 委員 城石真由美 (行政協議会)  
 委員 小野 正義 (病院協議会)



委員長 松村 史樹

## 新しい山口県栄養士会への1歩

組織部を任せられ、今期で3期目となりました。1期目は我武者羅にこなし、2期目は見えてきた問題に着手し、3期目は真の問題に取り組む時期かなと考えています。

さて、組織部門の受け持つ専門委員会として、組織委員会・HP委員会・そして新たに法人移行専門委員会が立ち上がります。いよいよ山口県栄養士会が、自分たちを満足させる活動から、一般社会へ向けて何ができるのかを問われる時代がやってきたと言えます。

会員へ向けた研修事業から、社会活動へ事業を一部シフトしつつ(法人移行専門委員会)、実施した社会活動をホームページに掲載し、栄養士の存在と役割を社会へPRし(ホームページ委員会)、その一方で魅力ある組織作りから、会員増・退会者減に取り組む(組織委員)。まさに、三位一体を担う重要な部門であり、今まで以上にプレッシャーを感じている真最中での執筆です。

とはいえ、会は会員が集まって成すものです。みんなで栄養士会のあり方を考え、今後の方向を作っていくように協力をお願いします。



委員長 河野 則子 (学校健康教育協議会)  
 委員 植田 京子 (福祉協議会)  
 委員 松尾 眞美 (病院協議会)



委員長 河野 則子

最近、「コミュニケーション能力」という言葉をよく目にします。「コミュニケーション能力」は、人とよりよく関わりあっていく力のことで、生きていく上でとても重要なことです。自分の思っていること、考えていることを正確に伝えたり、相手のことをきちんと理解し、良さを認め、違いを受け入れながら自分自身も向上していくためには、コミュニケーション能力が不可欠です。

栄養士会においても会員の「輪」を大切に、コミュニケーションを深めていくことが大切だと感じています。広報誌「栄養やまぐち」が会員相互のコミュニケーションの場となり、栄養士会の「輪」が広がることを願っています。

今年度も、年3回発行し会員の皆様にお役に立つ情報や各協議会や各支部からの活動状況等をお知らせし、会員相互の交流を深められるような誌面づくりをめざしていきたくと思っています。「こんな情報を載せてほしい」・「こんな活動をするので取材に来て欲しい」などのご要望やご意見、ご感想がありましたら、どしどしお寄せください。

小倉 淑夫 (社団法人山口県医師会事務局長)  
 大中 憲治 (学校法人香川学園理事・評議員・事務局長)

## お知らせ

### 特派員募集

広報委員会では「特派員」を募集しています。各支部で行っている活動や事業、頑張っている栄養士さんの紹介など会員の皆さんにお知らせしたいなという情報を気軽にレポートしてください。会員の皆さんが楽しく、そして親しみをもって読んでいただける「栄養やまぐち」にしたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

「特派員」になってみようと思われる方は、事務局までご一報ください。



### 事務局からのお願い

平成22年度会費未納の方は、早めに各支部へ納入をお願いします。納入先が分からない方は、各支部長又は事務局までお問い合わせ下さい。(別紙役員名簿参照)



**新発売**  
**プリベント®**  
**オリゴ糖**  
**シロップ**



**ビフィズス菌を増やす乳糖果糖オリゴ糖**

数多くの臨床研究で有効性が確かめられた乳糖果糖オリゴ糖を高純度で含有しています。

**便利な分包タイプ**

1包 (7g) でラクトスクロース3.6g、13kcal。

**料理や飲み物に入れるだけ**



**H+B** 株式会社H+Bライフサイエンス (林原グループ)  
 LIFE SCIENCE 〒700-0903 岡山市北区幸町8-29 三井生命岡山ビル

お問い合わせは TEL.086-224-3564

厚生労働省・農林水産省認可 全国病院用食材卸売業協同組合会員 治療用食品販売



たんぱく調整食品・カロリー調整食品  
 介護食・流動食 等さまざま食品を  
 取り扱っています。

詳細につきましては下記までご連絡ください

本社: 0827-57-7233

山口営業所: 083-988-2680

通販専用 TEL: 0120-723-317



おいしさ&健康  
**Glico**

身体に吸収されやすいミルクカルシウムが普通牛乳の1.5倍、普段の食事では摂取しにくい鉄分が1本当たり1.5mg含まれています。食事管理をされている方のバランスのとれた献立づくりに最適です。

カルシウムと鉄分の多いミルク180ml  
 栄養機能食品



毎日の献立に  
 加えてあげてください。

グリコ乳業株式会社 <http://www.glico-dairy.co.jp>